令和2年度 釜石湾内観測結果(No.6)

"今月の話題"

10m以浅の水温は、St.1から4の全ての観測点において過去の平均値(2013~2019年)と比較して高くなりました。

全ての点で底層の溶存酸素量が低くなりました。St.4では溶存酸素飽和度が50%を下回りました。

令和2年9月17日に実施した釜石湾内観測結果をお知らせします。

St.1~4の10m以浅の水温は、2013~2019年の9月の平均値(以下、平均値)よりも高くなりました。15m層及び底層の水温は平均値と概ね同じ値になりました。高水温期(9~10月)になり、底層の溶存酸素量が低下しています。水深50mを超えるSt.4では底層の溶存酸素飽和度が50%を下回っていました。クロロフィル量は5m層、10m層及び15m層で比較すると、5m層が高くなる傾向にありました。

海域名:釜石湾 調査担当:水産技術センター

観測点(St.)		1(垂水)	2 (湾北部)	3 (石浜)	4(白浜沖)
観測年月日		令和2年9月17日			
観測時刻		11:08	9:59	10:54	10:24
水深(m)		24.0	25.2	18.2	54.7
透明度(m)		6.0	6.0	7.5	7.0
水色		4	4	3	4
水温(℃)	表層	21.0	21.0	21.5	21.2
	5m層	21.6	21.5	21.6	21.5
	10m層	21.2	20.8	21.3	21.1
	15m層	20.2	20.1	20.4	20.3
	底層	18.9	18.5	19.6	15.4
塩分	表層	25.1	22.5	26.8	22.1
	5m層	33.1	33.1	33.2	33.1
	10m層	33.4	33.3	33.4	33.3
	15m層	33.6	33.6	33.6	33.6
	底層	33.8	33.8	33.7	34.0
溶存酸素飽和度(%)	表層	97.7	101.6	101.7	104.5
	5m層	103.4	102.5	102.2	104.0
	10m層	96.5	102.4	97.2	101.2
	15m層	90.6	90.8	82.8	95.3
	底層	62.8	79.0	58.4	49.2

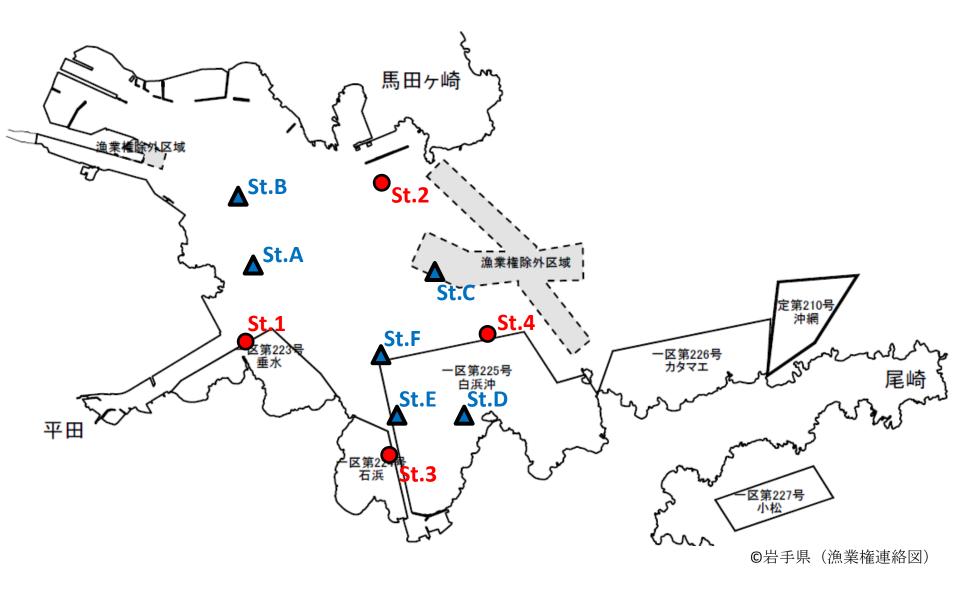
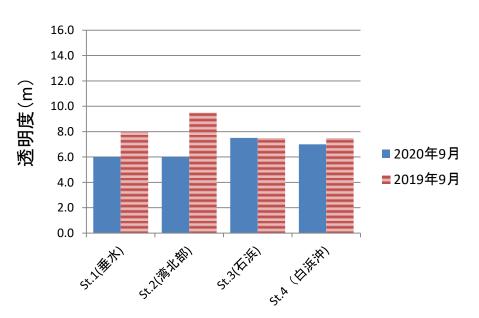


図1 釜石湾調査定点図

%St.1からSt.4(\bigcirc)において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。 St.AからSt.F(\triangle)において表層0mから水深15mの水質を観測した。

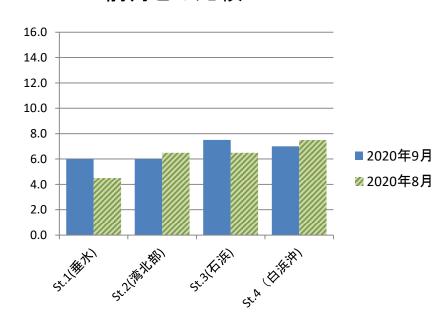




・St.1及び2で前年同月より低い

・St.3及び4で前年同月とほぼ同じ

前月との比較



・全点で先月とほぼ同じ

図2 透明度の比較(前年同月、前月)

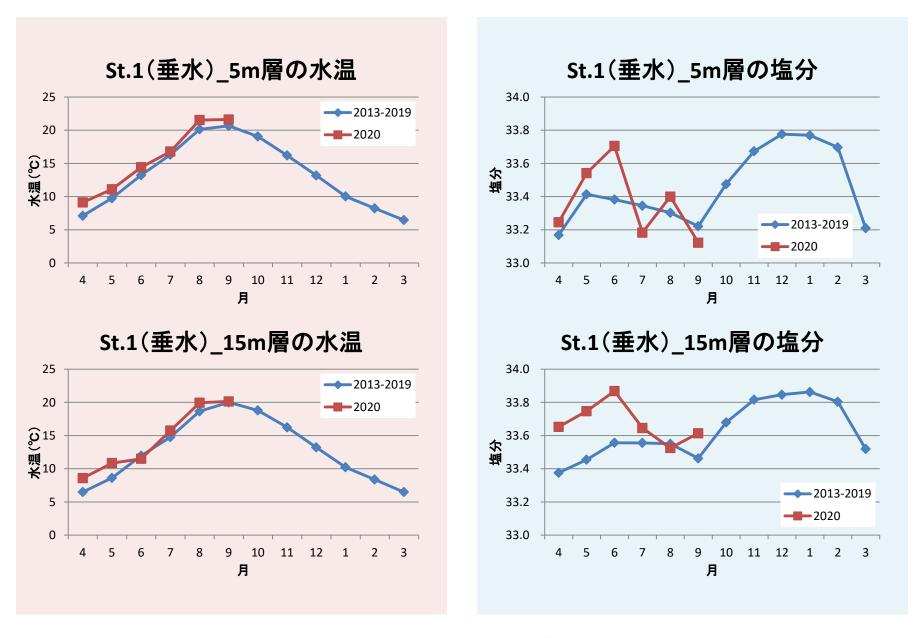


図3 St.1(垂水)の水温及び塩分の推移

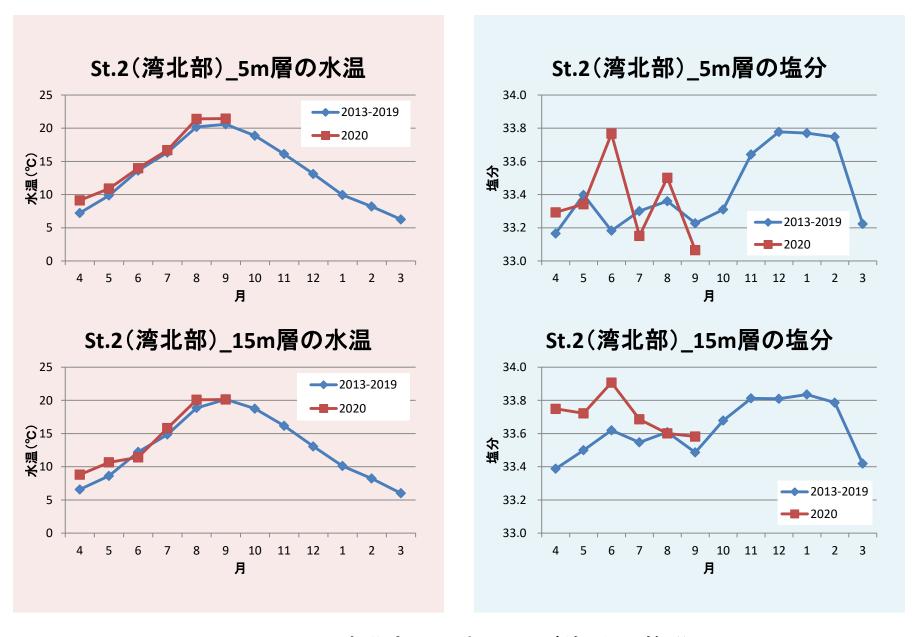


図4 St.2(湾北部)の水温及び塩分の推移

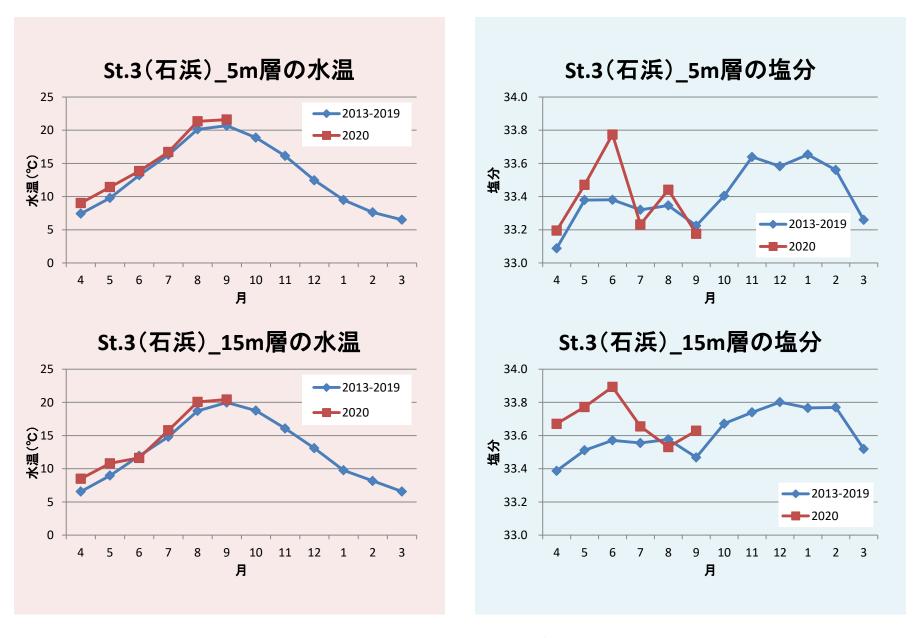


図5 St.3(石浜)の水温及び塩分の推移

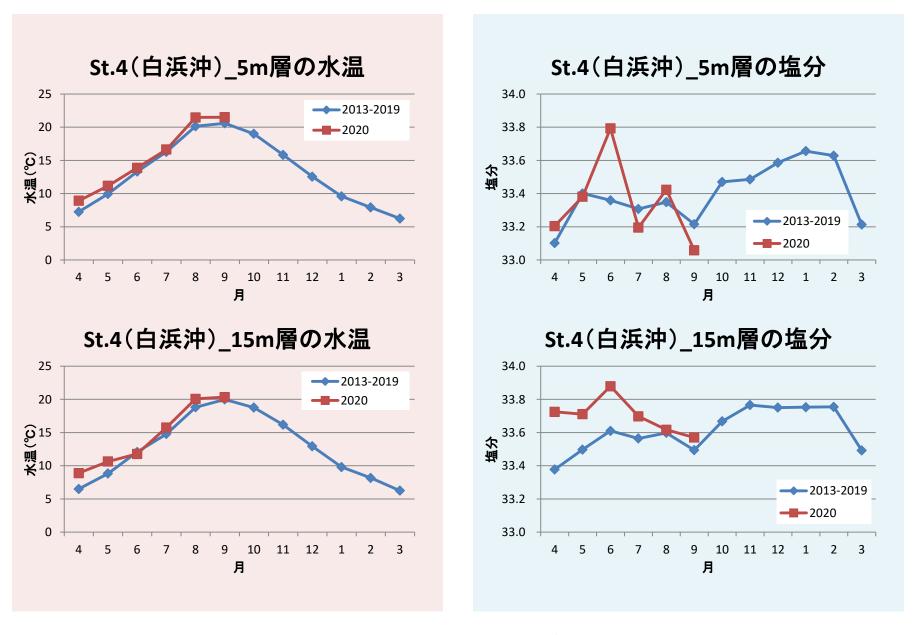


図6 St.4(白浜沖)の水温及び塩分の推移

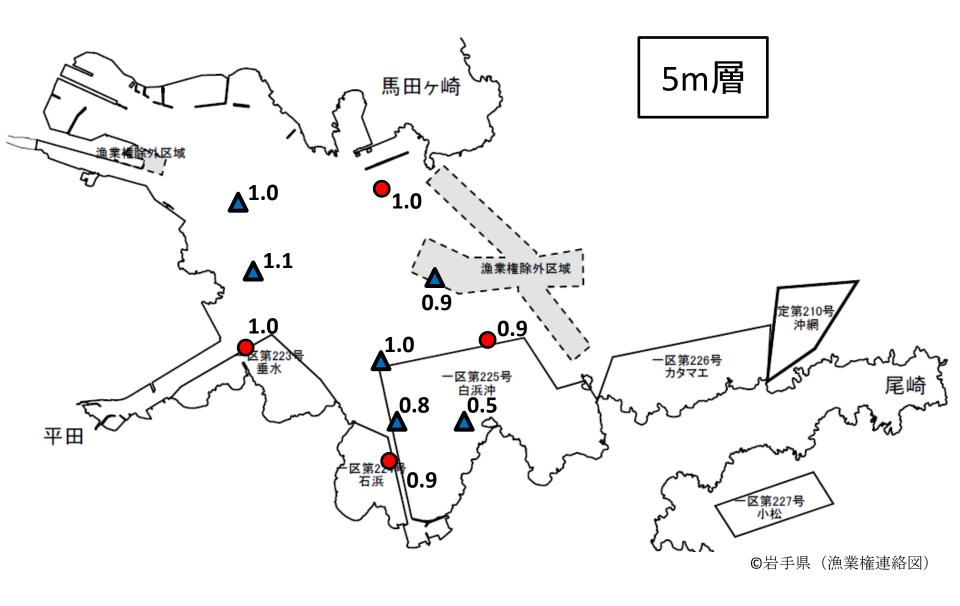


図7 5m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。1度の調査での湾内の相対的な 比較としてご利用ください。

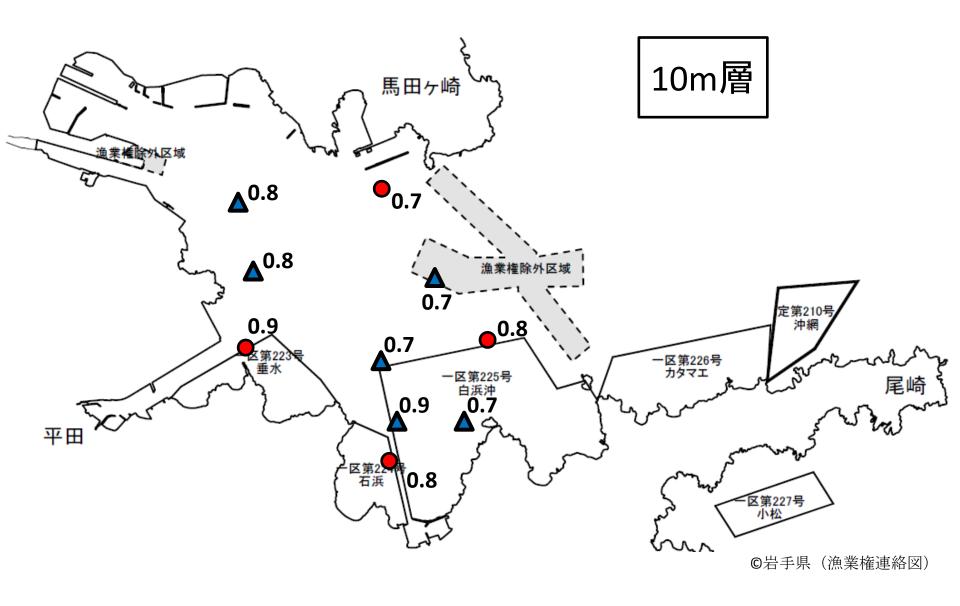


図8 10m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。1度の調査での湾内の相対的な 比較としてご利用ください。

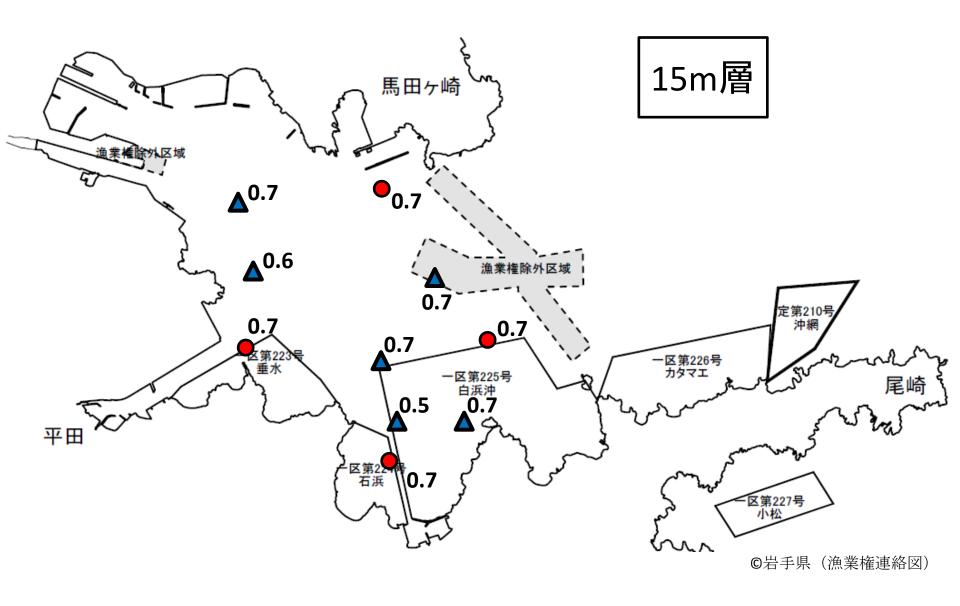


図9 15m層のクロロフィル量

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。1度の調査での湾内の相対的な 比較としてご利用ください。